



直島・瀬戸内アートのレストランを訪ねて

溝下 佳子（中国語会員）

瀬戸内海に浮かぶ不思議な島「直島」が今年度の研修旅行先です。人口3000余人の島に年間28万人の観光客が訪れ、うち外国人観光客が5万人とも言われています。最近特に欧米人に人気が、会員が外国人ゲストを案内する機会も増えているとのこと。その魅力を探るべく、研修旅行グループによって計画され事前の綿密な準備を経て、当日を迎えました。

早朝寒空の中、過去最高の参加者65名を乗せた大型バスと小型バスは、約2時間半かけて宇野港へ。宇野港から大型フェリーで20分、いよいよ



護王神社「ガラスの階段」

本島に到着です。青い空、青い海、目の前に現れたガラス張りの斬新な「なおしま」ゲートに感嘆し、バスの窓からちらりと見えたアート「赤かぼちゃ」に歓声があがります。いやが上にも期待は膨らみ、胸がわくわくしてきました。さあ、ここからは2台のバスは別行動開始です。実は直島の美術館、レストラン等には人数制限があります。その条件をクリアするため、事前にABCの3グループに分け、家プロジェクト、ベネッセミュージアム、地中美術館を別々のルートでまわるという苦肉の策を用いることになりました。

「家プロジェクト」とは、古い町並みが残る本村地区の古民家などを改修し現代アートにする、という試みで、全部で7箇所あります。時間等の関係で全てをまわることは出来ませんでしたが、謎につつまれた現代ア

ートの世界を、優しいボランティアガイドの方々に小出しに種明かししていただくことで、アートを身近に感じ、また体感することができ、非常に楽しめました。

「ベネッセミュージアム」は、ベネッセハウス敷地内にあるミュージアムで、広々とした館内では食事及び現代アートを心ゆくまで楽しむことが出来ます。美味しい日本料理を美しい空間で賞味した後、各自が自由に館内を散策し、思い思いにアートの世界に浸りました。

「地中美術館」ではまさしく、度肝を抜かれた感があります。コンクリートうちっぱなしの安藤忠雄独特の設計建築であり、美術館そのものが迷路のようです。どこをどう歩けばいいのか、かなり分かりにくいのです。なにしろわざとそうしてあるのですから……。随所に遊び心が溢れ、ここにも謎とドキドキが盛り沢山です。館内展示されているのはクロード・モネ、ウォルター・デ・マリア、ジェームス・タレルの3名の作品だけですが、少ない作品を充分堪能できるように設計されています。とてもお勧めです。



あまりの楽しさに、あっという間に時間が過ぎました。うっとりするほど美しいオレンジ色の夕日を眺めながら、満足感一杯で帰途につきました。また、皆様が時間厳守し協力してくださったお陰で、複雑な行程にも関わらず、とてもスムーズにすすみ、素晴らしい研修旅行になりました。心より感謝いたします。ありがとうございました。



草間彌生作「赤かぼちゃ」



家プロジェクトをめぐる



古い町並みをめぐる

HIGAの活動報告(2008年7月~12月)

7月24日(木) 広島県立広島高等学校プロフェッショナル探求

「総合的な学習の時間」の一環、プロフェッショナル探求に協力し、広島高等学校生を対象に通訳、ガイド、試験の概要、仕事の面白さ等を説明。平和公園の案内の実際を見てもらう。

8月21日(木) 「通訳案内士就業実態調査」報告会(国土交通省総合政策局観光資源課主催)

通訳案内士団体、旅行業界、ホテル業界、インバウンドオペレーター団体、マスコミ関係者とともに、通訳案内士資格の将来あるべき姿、方向性について意見交換。

9月7日(日) 第2回学習会「温泉を知る」(詳細は2頁)

9月11日(木) 第3回世界史講座「イギリス史3:帝国主義期以降」

11月6日(木) 第4回世界史講座「中国史1:明・清帝国」

11月6日(木) 広島県立三原高等学校職業インタビュー

生徒が将来自分の目指す職業に就いている人からお話を聴くプログラムに協力。

11月10日(月) 第5回通訳案内士制度周知強化週間

国土交通省(中国運輸局)・広島県主催で、無資格通訳案内士の実態把握及びその違法行為性の啓蒙活動を行う。平和公園にて調査。

11月19日(水)第1回・12月11日(木)第2回「通訳案内士のあり方に関する懇談会」(観光庁主催)

通訳案内士団体、旅行業界、ホテル業界、地方自治体、ボランティアガイド団体、観光庁のメンバーで、HIGA古谷事務局長をはじめ通訳案内士団体からのプレゼンテーションを行う。

12月7日(日) バス研修旅行

目的地:香川県 直島。会員とその家族65名が参加。(詳細は1頁)

2008年度第2回学習会

『温泉を知る』~知っ得!温泉クイズショー~

野宮 三鈴(英語会員)

9月7日(日) 第2回学習会『温泉を知る』が国立広島原爆死没者追悼記念館にて行われました。6月以来の学習会。久しぶりの皆さんとの再会でもあるし、なんだかとてもりの良いメンバーの方々によるクイズ形式の学習会ということで、うきうきして10分前に会場到着。しかし、扉を開けると、時すでに遅し。既に学習会がスタートしている

ではありませんか!温泉初心者の私としては、本日学ぶべきことは多いのに、スタートから学習内容を聞き逃すとは・・・とがっかりした私。でもそれは、私の勘違い。実はスタッフの皆さんの本番さながらのリハーサル中でした。さすが、気合が入っていらっしやるなあ。

山田優子会員からは「温泉と日本文化」に関するなるほど納得のお話。山本千絵会員からは興味深い「温泉の成分と効能」について。最後はとてもタイムリーな篤姫のエピソードと共に紹介された、吉岡恵子会員からの「指宿の魅力」。2時間の学習会はあっという間に終了の時間を迎えました。クイズと発表が交互に行われるテンポのよさ。さらにメンバーの方々のチームワーク。ガイドとして大切な“おもてなしの心”を随所に感じさせていただきました。プレゼン方法の工夫や、学習者の様子を絶えず気にされながらの進行は、私自身の仕事でも大いに参考にさせていただきます。



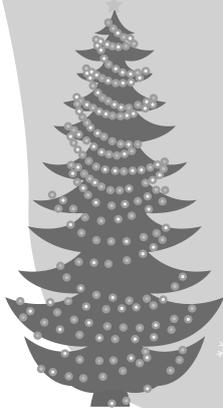
みんなで温泉へ Let's Go!というのは少々苦手な私ですが、今回、温泉初心者の好奇心をくすぐる学習会効果のおかげで、この冬の温泉探検を考え始めています。

古谷章子事務局長、国土交通省中国運輸局より表彰



表彰式にて(女性左側)

去る8月1日(金) 当協会の古谷章子事務局長が、ご自身の長年の貢献に対し国土交通省中国運輸局より評価され、表彰されました。表彰理由は以下の通りです。(1)訪日する国際観光客を英語で案内する通訳案内士歴30年、広島魅力を世界に発信する努力を重ねている。また後進の育成に重要な役割を果たしている。(2)1994年に広島で開催されたアジア競技大会に備えて、官民の要望と支援を受けて1992年に発足したひろしま通訳・ガイド協会の創設に中心的役割を果たした。42名の会員で発足した同協会は現在137名の会員を有している。(3)ひろしま通訳・ガイド協会の常務理事・事務局長として通訳案内士資格の認知度をあげることに貢献し試験合格者で会員となった有資格者のために、学習会・研修会・講演会を実施することに尽力している。(4)永年の通訳案内士の体験から、国際客の興味・関心・し好に通じており、各種の観光振興にかかわる会議で意見を発表、国際観光振興の一助となっている。ご自身のベテラン通訳案内士としての経験を惜しみなく分けて下さり後進の育成に尽力し、会長をサポートして協会の創設・発展に寄与され、常に国際観光に携わる立場から発言してこられた功績が公に認められたことは、会員にとっても大変喜ばしいことです。これからも、事務局長としての活躍を期待しております。



絵本「ヒロシマとハワイを結ぶ物語」を発行して

畝崎 雅子(英語会員)

「広島県は移民県」ということばを聞いたことがありますか？

1885年から1894年の10年間、当時独立国であったハワイ王国と、明治維新後の日本政府が結んだ契約に基づき、約3万人の日本人がサトウキビ農園での労働力として、ハワイに渡って行きました。その約4割の人が広島出身だといわれています。「官約移民」といわれるこの制度が終了した後も、広島から多くの男女がハワイやアメリカ本土、ブラジルへと渡って行きました。沖縄県と並び、広島県は多くの移住者を輩出した県なのです。

1992年から通訳案内士として活動し、広島出身の日系人にお会いする中で、「なぜ広島から？」という疑問が膨らんできました。関連の書籍を読み、研究者の話聞き、少しずつハワイに住む日系アメリカ人について学んだ後、2002年夏、ホノルルに出かけ、26名の聞き取り調査を行ないました。ハワイでは戦争時代に10代、20代であった人の発言が特に印象に残りましたので、この時にお聞きした内容をもとに、「お話ししてよ、おじいちゃん」「ハワイのおばあちゃんからの手紙」という子ども向けの物語を2編創作しました。70歳と9歳の友人に心に残る絵を描いてもらい、日本語と英語で表記したバイリンガル絵本としました。

2003年から物語を書きはじめ、2004年にパイロット版を発行。日系人の方や、研究者と意見交換を行ない、修正を重ねて、今年2008年7月に、NPO法人「ANT-Hiroshima」から2000冊を発行することとなりました。この時に、2編を「ヒロシマとハワイを結ぶ物語」と名づけ、32ページの1冊の本にまとめました。これまでに、ANT-Hiroshimaから広島県の公立小・中・高に1100冊、海外には、ハワイの学校を中心に300冊を無償配布しています。

今後は、アメリカ本土で戦争を体験した日系人の若者の話を創作したいと考えて、現在、作業を続けています。

ご希望の方には実費500円でお分けします。HIGA事務局までメールでご連絡ください。



著者と絵本

仕事の現場から

ヤングVIP と過ごした2日間

中尾 好美 (英語会員)

カリフォルニアからVIP7名が10月に来日されました。毎年同じメンバーで海外旅行をし、今年は日本に来られたとか。超有名ホテルのオーナーなどがその中におられました。55歳までの諸条件が満たされたプレジデントのみがこのグループのメンバーとのこと。一日目は厳島神社の正式参拝。外国人の方が長時間正座できるかしらと心配していましたが、イスが用意してありました。参拝中は祝詞以外を通訳しました。正式参拝のあとは舞楽の観賞で、神職の方の舞楽の説明を通訳しました。「陵王」と並んで記念撮影をしましたが、終了するまで平舞台は完全に通行止めにされていて驚きました。厳島神社参拝の後は商店街にご案内しました。そちらで広島名物の牡蠣を召しあがり、旅館「有もと」のお部屋にご案内。ちなみにこの旅館の貴賓室は、眼下に厳島神社の絶景が見渡せる素晴らしいお部屋でした。(予約がなかなか取れないとのこと)

翌日は平和公園碑めぐり、平和記念資料館見学の後、メンバーの一人が寄付をしたいとおっしゃり資料館3Fの事務局までお連れしました。その後お好み焼きを食べましたが、この日は修学旅行生の予約で「お好み村」も「お好み共和国」も満席でした。隣の「村長の村」が予約でき助かりました。その後の広島城では全員が鎧兜姿で撮影大会。大喜びでした。彼らの元気と知識欲を見ると、さすがプレジデントは違うと感心しました。私も元気をもらいました。

宮島の歴史探索と「禅」・「茶道」体験無料ツアー



HIGAは平成20年度国土交通省中国運輸局実施の「観光資源サービス開発事業」の一環として「宮島の歴史探索と禅・茶道の体験ツアー」を同局より委託されました。約3時間のコースで、HIGA会員の英語通訳案内士が世界文化遺産である厳島神社をはじめ、数々の史跡を案内し、真言宗の名刹大聖院で禅や茶道を体験します。ぜひこの機会に外国人の方をお誘いあわせの上、ご参加ください。

開催日時：2008年12月5日から2009年1月30日の毎週金曜日
13:30～16:30 (2009年1月2日は除く)

定員：20名

集合場所：宮島栈橋 13:20

参加費：無料(厳島神社昇殿料300円は参加者負担)

申込先：ひろしま通訳・ガイド協会

FAX: 082-243-6767

e-mail: higa@urban.ne.jp

詳細はHIGAホームページ <http://www.j-higa.net> をご覧ください。

タクシー・ハイヤー・バス・トラベルは・・・

ISO9001:2000 認証取得

つばめ交通株式会社

〒732-006 広島市東区牛田本町4-5-10

配車センター 082-221-1955

<http://www.tsubame.co.jp/>





中国に暮らしてみれば・・・

近藤 春美（中国語会員）

今年半年間滞在した「中国・大連」は、高層ビルが立ち並び、道路には車が溢れ、外資系の大手スーパーでは何でも手に入る大都市である。

しかし、この国は社会主義の国なのだ。例えば、四川省大地震、北京オリンピック、食品問題等々。中国に住んでいるからといって、正確な情報が伝わるとはかぎらない。中国では、四川省大地震の生々しい映像を見ることはなく、オリンピックにまつわるトラブルを聞くことも少ない。日本であれだけ騒がれた食品問題も一般の中国人はどこまで知っているのだろうか？

「被災に負けずに手を携えて頑張ろう！」というメッセージが度々流れ、華やかなオリンピックのニュースばかりが目についた。

聖火リレーが行われるとの情報が入るや露天商の店が急に消えた。そして、終わるや街はいつもの埃っぽい賑やかな風景に戻る。オリンピックが近づくや屋台街は突如店閉まり。まるで夜逃げしたかのように。そして、その場所にはベンチと花が飾られた。オリンピックが終わると、何事もなかったかのように懐かしい屋台のオジサンの顔が見えた。

「上に政策あれば下に対策あり」中国でよく言われる言葉である。この国で生き抜くには、したたかで、おおらかでなくては生きていけない。たくましくなければ生きていけない。昼中でも平日でも街の到る所で、トランプに興じる人たちを見かける。「仕事は？」と生真面目な日本人は気になるところだが、トランプの合間に仕事をするのだろうか。ある街で診療所に行ったら「どうした？」と、トランプに興じる人の輪の中から一人のオジサンが現れた。この方が、診察して下さるお医者さんだった。トランプの合間に診察？

目に見えぬ社会主義というこの国で、人々はたくましく生きている。バスの中で当然のように席を譲る優しさ。見知らぬ外国人の私を自然に受け入れてくれたおおらかさ。この国は、これから先には、どんな姿を見せてくれるのだろうか。



トランプに興じる人たち

宮島銘菓

大正十四年創業



宮島 藤い屋



広島県廿日市市宮島町 1129

TEL (0829) 44-2221

<http://www.fujiiya.co.jp>

直売店

宮島本店・広島駅アッセ店・広島駅新幹線名店街店・そごう広島店・そごう呉店・天満屋アルパーク店・広島空港天満屋店・広島駅前福屋店・呉駅クレスト店・駅売店 kiosk

文化講演会のお知らせ

本年度のHIGA文化講演会は、広島大学谷本秀康准教授をお迎えし、講演していただきます。

同じ言語を共有する人同士でも誤解のないコミュニケーションができるとは限りません。そんな中、通訳者は、文化、言語、生活習慣などが異なる人々の間で、言葉の壁など存在しないかのようにお互いの意図を伝えてくれます。異文化コミュニケーションの橋渡し役である通訳者たちの、聞きながら同時に訳すというあのしくみはどうなっているの？ こんな疑問に答えるべく、言葉の持つ意味の曖昧さ、誤解のメカニズム、通訳の難しさなどを、英語と日本語を対比しながら、長年にわたる同時通訳者としての体験をもとに解説していただきます。



記

演 題： コミュニケーションギャップと言葉の意味
同時通訳者の体験を通じて

開催日： 2009年2月21日(土)

時 間： 13:30 ~ 15:30

場 所： アステールプラザ7階研修室

定 員： 100名(要予約)

参加費： 無料

ご予約・お問い合わせ： ひろしま通訳・ガイド協会事務局

【ご協力ありがとうございます】

HIGA 賛助会員ご入会の皆様(2008年12月現在、順不同、敬称略)

団体会員

広島紅葉ライオンズクラブ
広島商工会議所
JTB 協定旅館ホテル連盟広島支部
広島県医師会
つばめ交通(株)
(有)はやし
(株)オムエル
広島トヨペット(株)
嘉屋日米交流基金
(株)藤い屋
(社)広島県観光連盟

個人会員

| | | |
|--------|--------|--------|
| 市川 太一 | くらわんか | 山本 光子 |
| 河井 克行 | 藤井 倫子 | 海生 直人 |
| 延本 真栄子 | 先花 智恵子 | 三段峡ホテル |
| 清水 考子 | 森田 釈代 | 龍山 壬生子 |
| 田島 謙治 | 小辻 一洋 | 池田 清 |
| 畑 博行 | 花やしき | 河井 あんり |
| ことば工房 | 古谷 敏明 | 三上 貴教 |

この度、賛助会員の広島トヨペット(株)社長古谷敏明様が、長年の社会貢献を評価され、黄綬褒章を受章されました。11月18日(火)国土交通省ホールでの式典にて、金子一義国土交通大臣より授与があり、午後皇居で、章子夫人(当協会事務局長)と共に天皇陛下に拝謁されました。おめでとうございます。

賛助会員としてご協力くださる団体、個人の方を募集しています。ぜひこの機会にご入会をご検討くださるようお願い致します。年会費は一口につき団体会員2万円、個人会員5千円です。団体会員には、HIGA ニュースに広告掲載の特典があります。

お申し込み、お問い合わせは、当協会事務局 082-245-8346(月~金、11~16時)まで。

本紙へのご感想・ご意見をお寄せください。HIGA事務局へ郵便・電話・FAXまたはEメールでどうぞ。
Eメール: higa@urban.ne.jp ホームページ: <http://www.j-higa.net>

~ 「かき」にこだわって60年 ~

焼かきのはやし

広島県廿日市市宮島町 505-1
TEL (0829) 44-0335

